

## 研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-142	A-169	20-402	佐賀県医療センター好生館 角南隆史 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 松下幸生
<b>題名（原題／訳）</b>			
Alcohol consumption and alcohol-related problems during the COVID-19 pandemic: a narrative review COVID-19 パンデミック時のアルコール消費とアルコール関連問題：ナラティブレビュー			
<b>執筆者</b>			
Ramalho R			
<b>掲載誌</b>			
Australas Psychiatry. 2020 Oct;28(5):524-526. doi: 10.1177/1039856220943024. Epub 2020 Jul 28.			
<b>キーワード</b>			<b>PMID</b>
新型コロナウイルス感染症、アルコール、アルコール使用障害、アルコール関連問題、パンデミック			32722961
<b>要 旨</b>			
<b>目的：</b> COVID-19 のパンデミック時のアルコール消費とアルコール関連問題を報告した出版物をナラティブレビューでまとめた。			
<b>方法：</b> 方法は以下の通り。ProQuest、Web of Science、Google Scholar で 2020 年に出版された論文を検索した。この検索では、2 つの用語を使用した。「アルコール」と「COVID」であった。追加の論文を特定するために、論文のリファレンスリストをレビューした。			
<b>結果：</b> 結果は以下の通りであった。アルコール摂取量の増加とアルコール関連の害をめぐる懸念が高まっていた。これらの懸念は、COVID-19 および/またはアルコール使用障害を有する人における過剰なアルコール摂取の影響と、有害な飲酒、アルコール使用障害、離脱症状、親密なパートナーからの暴力、子どもへの危害、自殺、精神衛生上の問題および非伝染性疾患の有病率の潜在的な増加に関連している。パンデミックの間、アルコール使用を評価し、適切なアドバイスを提供する必要性が強調されている。			
<b>結論：</b> 今こそ行動を起こすべき時であり、アルコール関連の問題の増加を防ぐために必要なすべての対策を採用すべきである。同時に、医療サービスは、パンデミックによってもたらされる物理的な距離などの例外的な状況に適応しながら、このような潜在的な増加に備えるべきである。			